

柔らかなココロ



「世界のトップアスリートと子育て」

子育てで一番大切な事は？と聞かれ、すぐに答えられる親ははたしてどれくらいいるのだろうか？私自身も大事なことが多すぎて上手く答えきれいな・・・と思っていた。

それを即答して下さった親御さんがいた。それは先日講演会でご一緒させて頂いた、石川公久さんだ。世界のトップアスリートである卓球競技の石川佳純選手のお父様である。私自身はコーディネーター兼ファシリテーターとして子育てについてのあれこれを質問形式で忌憚なくお聞きさせて頂いた。全ての質問について刺激的な答えが返ってきたのだが、特に印象的なエピソードを何個か紹介したいと思う。

佳純選手が卓球を始めたのは7歳。(日本のトップアスリートには珍しく遅いスタートだと感じたのは私だけではないと思う) ピアノ・水泳など本人がやりたいという事は習わせた結果、最後までやり切ると決めたのが卓球だったそうだ。そして、トップアスリートには珍しく佳純選手は今までケガというケガはしていないそうだ。アスリートはトップになればなるほどケガは付き物だ。しかし、ケガをしない体というのは最も大事な才能の一つである。持って生まれたものの他に、本人がきちんと休む状況を判断してちゃんと休む勇氣があるかという事も強さの秘訣ともいえるだろう。

卓球競技は伊藤美誠選手や平野美宇選手などに代表されるように比較的若い選手でも勝てる特性を持っている。その中でも10年以上日本のトップとして活躍出来ている佳純選手の強さを聞いた。それは、本人の負けず嫌いの性格がトップで活躍出来る理由というお答えを頂いた。この負けず嫌いの性格は幼い頃の教育方針の一つとして石川家で養ったそうだ。勝負ごとに関しては例え家族で囲むケーキじゃんけんでも親だから子だからという理由で容赦しないというエピソードをご披露して頂いた。

最後に子育てで一番大事なことは何か、会場の子育て世代の方々へのエールも込めて尋ねてみた。「子どものやりたい事を心から応援してあげる事」という真っすぐな答えが返ってきた。本当に大事なことと分かっているもつつい親の意識が入ってしまうなど、私自身も母として感じてきた時だったので、この言葉ははっきり言って響いた。

いつも子供にとって一番の味方でいたい。そう思っているが、私自身もまだまだ親として未熟もの。理想と現実いつも苛まされる。そんな中でも自分の指針となるものをしっかり決めてこれからも一緒に成長していきたいと改めて思えた。そんなきっかけを作ってくれたこの講習会に心から感謝したい。

そしてこれからも日本人として山口県民として石川佳純選手を心から応援していきたい。CM等で見るとあの爽やかな笑顔の裏にはアスリートとしてたゆまぬ努力を重ねて東京オリンピックに向かいぶれない真の強さを持った彼女を。

(近藤 優子)